

むかしすべての武器を捨てて、今、故国日本を呼びもとて平和を築き、「守れぬの国」を築く。この大会の大きな一つは、ひやかな歌舞曲や典雅な伝説を、沖縄から代表が直接つたててきたことだ。

かつての太平洋戦争において日本、本来の国土中、唯一の弾丸雨の血の戦場となつた。いかにその島、沖縄。そして今、一年間も異民族の支配下で、里子のような状態のまま耐えがたい屈辱をしのびながら苦しんでいる土地、沖縄。

太平洋の一大強制収容場と化した沖縄の証言

沖縄県民八十万は、アメリカの基地の周辺に住んでいるのは、順の氏が交々に報告した主なく、その基地の中にひしめき、捕えられて呻吟しながら子が母を呼ぶようなおもひ

射撃演習の邪魔だ！

飛行機でガソリンまき

三日三晩もえる山

★去る七月十二日、伊江島で、アメリカの飛行機がガソリンをまき、三十万坪の耕地と山林を焼き払った。その理由は、無抵抗の抵抗で、自分の島を耕し収穫を待つてゐる農民に、何ぞ植付けをしても収穫できるばかりのイモや島特産の落花生、三百年の樹齢をほこる山林や松の防風林、家畜のために必要な牧草はみな全滅し、住民の小屋や設備も一しよに消え、その炎は三日三晩あかかたを夜をそめてもつきました。米軍が発表した理由には、それらが生えては、射撃演習の観測にやまであるといふこと

富ましめず餓死させず

アメリカの沖縄政策

★アメリカは沖縄を貧しくさせていまい。豊になればアメリカに頼らなくてもよくなるのです。しかし決して豊にしようとは思つてゐない。豊かにさせようといふのは、

射殺者は無罪

殺された悦子さんは

軍布令違反で無保証

★アメリカ軍が、どんな無茶をしてもかまわない。悦子さんは三人の母親で、子供が助産をせよ、主人の月三千円の収入ではどうにもならず、家計のたしと思つてやつたことが、この惨事になったのです。悦子さんを射殺した兵士は、一体誰ですか。

奴隷の給料

アメリカ人 二千二百五十六円
沖縄人 二十七円五十銭

日本よ我を救え！

アメリカは世論がこわい

★アメリカは、この国から干渉をうけずに、易々と原水爆兵器をもちこめるという理由で、沖縄を手放さないのです。そのためには米軍は手段を選ばない。強襲、暴行、人権じゆうりん、不法行為は数えきれません。沖縄県民の地位は軍命令や暴力で押しつぶしてしまふとしかかゝつてゐるのです。

農民叛亂と宗教改革

自由都市の運動となつて、中世を叩きつづつ、つぎの絶対王世のいま一つの社会革命運動といふ。この農民叛亂が、宗教的な色をこし、のちに宗教改革と密に結びつたのはこのためである。しかし、この運動はプロテスタントの運動とは、勿論別として考えなくてはならない。

アナキズム入門

大沢正道

いま、そのおもなものをあげる。フランスのジャクリーの叛亂（二五八八年）が、もつとも年代的に早い。ジャクリーはたんに農民ばかりでなく、パリなどの都市の下層民も参加した。叛亂に加つた者は十万人に及ぶといわれる大規模なものであつた。フランスではその後七、八回に及ぶ大きな農民叛亂が起つてゐる。

ボヘミアの農民叛亂

ボヘミアにおける農民叛亂は、いつぱんに一四一九年から一四二四年にかけてつたれた戦争の名で知られてゐる。ボヘミアの改革者ジャン・フスは、ウィクリフの説をうけて、教会と国家の分離、免罪符の廃止を説く神学者であつた。

アナバプチスト派

ドイツの農民叛亂は一五二四年から一五二五年にかけてつたれたドイツ農民戦争によつて代表されてゐる。この宣言は、一五二四年「信仰の宣言」は中世のアナキズム宣言ともいふことができる。

防衛を力けるアメリカを儲けさせ

このことを併せていふと、防衛庁の役人が日本人なら、なるべく安くてもよいものを賣つて、精一杯儲けるのが当然だ。アメリカは売りがついているのだから、なにもひりして不要品やクソ同様の飛行機など、買つ必要はない。

一万二千カウ

ントの雨水

★日本の島々もそうだが、沖縄列島のほとんどの住民の飲料水は、雨水によつてゐる。毎日スコールとしてやつてゐる雨、それがためたててすべての用途につかれます。

